

行政 トピックス



身近なテレビが教室に変身

—なんたんテレビ学舎—
まなびや

11月23日から、「なんたんテレビ学舎」の放送を開始しました。

この番組は、南丹市内の中学3年生を対象に、家庭学習支援の一環として教育委員会が提供するもので、市立中学校の現任教員が講師として出演し、「国語」「数



▲数学の授業をする園部中学校の福西茂樹先生



▲テレビの収録をする英語担当の黄楊川先生

学」「英語」の3教科を、毎週水曜日午後9時から、各教科それぞれ5回程度のシリーズで放送。なお、CATVに未加入の家庭もあるため、各中学校にDVDを配布し活用を図ります。今回、英語の講座を担当された園部中学校の黄楊川淳先生は、「普段は生徒の顔を見て、反応を確かめながら進めますが、顔が見えないと授業を進める速さが適切かどうかかまいません。放送では、時間内に要点を的確に伝えられるようにしたい」と話されました。本年度は、試行的な取り組みですが、将来的には学校教育情報を家庭にお届けする番組として、内容をさらに充実する方向で考えています。

ことばの宝石、みつけた！

—「きらり・本のことば」
コンクール表彰式・記念講演—

11月27日、日吉町生涯学習センターで開催。市内の小・中学生が、読書活動の中で心に残った言葉とそれについての感想を文章や絵にして表現した合計240点の応募作品の中から、41人の児童・生徒を表彰。記念講演では、元NHKエグゼクティブアナウンサーの宮田修さんを招き、「話して伝える楽しさ苦しさ」と題して、自身の経験を踏まえ言葉の重みやコミュニケーションの大切さなどについて講演していただきました。



▲森教育長から表彰される児童・生徒



▲佐々木市長による防災対策の説明を聞く参加者（美山文化ホール）

生の声を聞いて市政に反映

—平成23年度市政懇談会—

11月1日から22日まで、市内12会場で開催。427人の方に参加いただきました。今年は、最もお伝えしたいこととして、市長から南丹市の原子力防災対策の取り組みについて、また教育長から学校教育環境整備等検討委員会などからの中間報告について説明を行ったのち、市民の皆さんの思いやまちづくりに対する考え方、地域の現状などについて、ご意見やご提案をいただきました。

なお、質疑回答の一部を次号広報なんたんで紹介します。